

団体名	公益財団法人 高松市国際交流協会							
事業名	多文化共生ワークショップーもし自分が文化も習慣も言語も違う所で住むことになったら？ー							
実施期間	平成29年12月10日(日) 13:00ー16:00							
場 所	アイパル香川3階 第1・2会議室							
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ	大学関係者	来場者等	合計
	2	0	12	14	1	0	13	42名

<実施内容>

「多文化共生って何だろう？」
「もし自分が言語も文化も習慣も違う所で住むことになったら？」

ただ何かを読んだり、聞くだけでなく、実際に自分がその立場になって体感することで多文化共生への理解と自分達の役割を考えることのできるワークショップを開催しました。
同志社女子大学 現代社会学部現代こども学科教授 藤原孝章氏を講師に迎え、同氏の著書『ひょうたん島問題ー多文化共生社会ニッポンの学習課題ー』のシミュレーション教材を用いて実際に参加者がロールプレイ、グループワークをしました。またそのほか外国人留学生による日本の生活を通じての体験談の発表、続いてムスリムについての認識・理解を促進するために活動している香川大学の「ハラリシ」によるハラリシについての説明や団体説明・活動発表を行いました。最後に30年以上も外国人留学生や在住外国人を受入れている市民団体、「仏生山国際交流会」の代表者の方から「みんなの多文化共生」としてこれまでの地域住民と外国人との活動内容の発表をして頂きました。幅広い年齢層、学生や地域住民の方など様々な所属の方にご参加頂き、参加者の方は多文化共生ワークショップのグループワークを通じて有意義なコミュニケーションを図っていました。

<記録写真>



「ひょうたん島問題」ワークショップ



留学生による体験談発表



藤原先生を囲んでの記念撮影

<参加者からのコメント>

無記名(日本) 学校教諭

「多文化共生」についてはワークショップに来るまでは知らないことが多かったのですが、今日参加してみて少し理解することができました。これからの日本・世界のことを考えて一人一人が考えなければいけない大切なことだと感じました。

無記名(日本) 学生

日本で暮らす外国人の意見や気持ちなどを聞いて今まで自分が感じていなかったことも多くあり、興味深かった。今後はそれを共有できればいいなと思った。